

目標：信頼される市立病院の運営

取組課題1 医療機能の充実・強化

取組項目(1) 救急・災害医療機能の強化

① 救急医療（一次（初期）・二次）の安定的な提供

② 災害医療機能の維持

No. ページ

1 1 ~ 2

2 3 ~ 4

取組項目(2) がん診療機能の強化・拡充

○ 診療機能強化と報告の推進

3 5 ~ 6

取組項目(3) 高度・専門医療の確保・充実

① 循環器内科における診療の充実

② 脳神経外科における診療の充実

4 7 ~ 8

5 9 ~ 10

取組項目(4) 医療機能の分化・強化、連携の推進

① 地域医療支援病院の運営と強化

② 地域包括ケアシステムの推進

6 11 ~ 12

7 13 ~ 14

取組課題2 医療の質と患者サービスの向上

取組項目(1) 人材の確保と育成の推進

① 医療従事者の確保

② 職員の専門能力の向上

8 15 ~ 16

9 17 ~ 18

取組項目(2) 医療安全の確保・向上

○ 医療安全の強化

10 19 ~ 20

取組項目(3) 患者に優しい病院づくり

○ 分かりやすい情報提供と利用しやすい施設の強化

11 21 ~ 22

取組課題3 強い経営体質への転換

取組項目(1) 収入確保に向けた取組の推進

12 23 ~ 24

取組項目(2) 経費節減に向けた取組の推進

13 25 ~ 26

取組項目(3) 経営管理体制の強化

14 27 ~ 28

取組課題1 医療機能の充実・強化

取組項目(1) 救急・災害医療機能の強化

① 救急医療（一次（初期）・二次）の安定的な提供

〔計画 記載ページ P.43〕

救急災害医療センターの運営にあたりましては、24時間365日の救急患者に関して診療要請を断らない診療体制を構築し、やむを得ず救急患者への対応が困難な場合は、他の救急医療施設との連携を図ります。また、小児救急患者につきましては、川崎市小児科病院群輪番病院として、年間を通して夜間や休日における初期応需機関からの転送患者の受入れを行うとともに、小児科専門医もしくは小児科救急医療を習得した医師が診療し、原則として、直接小児科病棟に入院します。

<取組内容>

令和元年度の主な取組内容

- ①救急専門医、小児科医の安定的な確保
- ②川崎市二次救急輪番制への参加

※平成28～令和元年度の目標値は目安として設定

<成果指標>		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
救急自動車搬送受入台数	目標値			4,050件	4,087件	4,125件	4,162件	4,200件以上
	実績値	4,012件	4,148件	4,330件	4,468件	5,220件	5,727件	
	評価			2	2	1	1	
救急患者数	目標値			11,900人	12,100人	12,400人	12,700人	13,000人以上
	実績値	11,851人	12,458人	12,591人	12,175人	13,023人	13,256人	
	評価			2	3	2	3	



<自己評価>

成果指標などの状況と成果の分析、今後の方向性	令和元年度の達成度
<ul style="list-style-type: none"> ・救急専門医、小児科医とも前年度と比較して増減はありませんでした。 ・24時間365日の救急医療と小児2次輪番救急医療の提供を積極的に実施し、救急自動車搬送受入台数は、5,727台と目標値を1,565台上回りました。この台数は開院以来最多です。また、救急患者数についても目標値を556人上回ったため、達成度をAとしました。 ・今後も、救急自動車搬送受入台数の確保及び救急患者数の受入れ確保を積極的に実施していきます。 	<p>A 目標を大きく 上回って達成</p>

取組進捗状況管理シート

<具体的な取組>

●は、主な取組として「市立病院中期経営計画2016-2020」に記載されているもの。

		<平成26年度>	<平成27年度>	<平成28年度>	<平成29年度>	<平成30年度>	<令和元年度>	<令和2年度>
●救急専門医・小児科医の安定的な確保	目標値			3人・10人	3人・10人	3人・10人	3人・10人	3人・10人
	実績値	実施	実施	3人・10人	4人・11人	5人・9人	5人・9人	
●川崎市二次救急輪番制への参加	目標値			参加	参加	参加	参加	参加
	実績値	参加	参加	参加	参加	参加	参加	

取組課題1 医療機能の充実・強化

取組項目(1) 救急・災害医療機能の強化

② 災害医療機能の維持

〔計画記載ページ P.43〕

災害拠点病院として、災害派遣医療チーム（DMAT）を保有・拡充し、被災地等に医療チームを派遣します。また、災害発生による孤立化（物資供給等の途絶時など）に備え、十分な食料、飲料水、医薬品の備蓄に努めます。

<取組内容>

令和元年度の主な取組内容

- ①災害派遣医療チームの隊員の増員
- ②災害訓練の実施
- ③備蓄品（食料、飲料水、医薬品）の適切な補充・交換

※平成28～令和元年度の目標値は目安として設定

<成果指標>		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
DMAT隊員 養成研修 修了者数	目標値			5人	6人	7人	8人	8人
	実績値	4人	5人	6人	6人	9人	12人	
	評価			1	3	1	1	
食料・飲料水・ 医薬品の院内 備蓄確保量	目標値			3日間分	3日間分	3日間分	3日間分	3日間分
	実績値	3日間分	3日間分	3日間分	3日間分	3日間分	3日間分	
	評価			3	3	3	3	



<自己評価>

成果指標などの状況と成果の分析、今後の方向性	令和元年度の達成度
<ul style="list-style-type: none"> ・前年度と比較して災害派遣医療チームの隊員は3名増員し、12名となりました。 ・10月に災害訓練を実施し、166名の職員が参加しました。また、部署別防災・災害訓練については全14部署において実施しました。 ・12月に行われた川崎市災害時病院連携訓練（北部地区）には、26名の職員が参加し、うち2名はコントローラーとして他病院に派遣されました。 ・2月に多摩消防署・多摩病院合同消防訓練を計画しましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止としました。 ・備蓄品については有効期限を確認し適時補充・交換を行いました。 ・結果、DMAT隊員が目標値より増員しましたので、達成度はAとしました。 ・今後も、災害派遣医療チームの隊員の増員、災害訓練・消防訓練の実施、備蓄品（食料、飲料水、医薬品）の適切な補充・交換を実施していきます。 	<p>A 目標を大きく上回って達成</p>

<具体的な取組>

●は、主な取組として「市立病院中期経営計画2016-2020」に記載されているもの。

		<平成26年度>	<平成27年度>	<平成28年度>	<平成29年度>	<平成30年度>	<令和元年度>	<令和2年度>
●災害派遣医療チームの隊員の増員	目標値			5人	6人	7人	8人	8人
	実績値	実施	実施	日5人 県1人	6人	9人	12人	
●災害訓練の実施	目標値			実施	実施	実施	実施	実施
	実績値	実施	実施	実施	実施	実施	実施	
●備蓄品(食料、飲料水、医薬品)の適切な補充・交換	目標値			随時	随時	随時	随時	随時
	実績値	随時	随時	随時	随時	随時	随時	

取組課題1 医療機能の充実・強化

取組項目(2) がん診療機能の強化・拡充

○ 診療機能強化と報告の推進

[計画 記載ページ P.44]

消化器がんの診断及び治療、肝がんの集学的治療、消化器早期がんに対する内視鏡的粘膜剥離術、その他悪性腫瘍に対する化学療法を積極的に行います。また、現在既に行っている「地域がん登録（神奈川県）」及び、平成28年1月から開始された「全国がん登録」にも参加します。

<取組内容>

令和元年度の主な取組内容

- ①化学療法の積極的な実施
- ②「地域がん登録」、「全国がん登録」への参加

※平成28～令和元年度の目標値は目安として設定

<成果指標>

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
がん登録数	目標値			843件	845件	846件	848件	850件以上
	実績値		841件 <small>(平成26年分)</small>	610件 <small>(平成27年分)</small>	653件 <small>(平成28年分)</small>	602件 <small>(平成29年分)</small>	522件 <small>(平成30年分)</small>	(令和元年分)
	評価			5	5	5	5	
がん手術件数	目標値			310件	312件	315件	317件	320件以上
	修正目標値					330件	340件	350件以上
	実績値	307件	322件	333件	393件	397件	398件	
	評価			2	1	1	1	



<自己評価>

成果指標などの状況と成果の分析、今後の方向性	令和元年度の達成度
<ul style="list-style-type: none"> ・化学療法の積極的な実施については、化学療法件数は1,518件で前年度と比較して103件減少しました。 ・腫瘍内科を標榜して3年目を迎え、化学療法の件数は増加傾向にありましたが、今年度は消化器・一般外科の患者減等により減少となりました。 ・がん登録数は、522件と前年度と比較して80件減少しました。しかし、がん手術件数は、前年度と比較して若干ですが増加しました。 ・結果、がん登録数は目標値に比べ大幅な減少でしたが、がん手術件数は目標値を大きく上回りましたので、達成度はCとしました。 ・今後も、化学療法の積極的な実施、「地域がん登録」及び「全国がん登録」への参加を継続していきます。 	<p>C ほぼ目標ど おり</p>

取組進捗状況管理シート

<具体的な取組>

●は、主な取組として「市立病院中期経営計画2016-2020」に記載されているもの。

		<平成26年度>	<平成27年度>	<平成28年度>	<平成29年度>	<平成30年度>	<令和元年度>	<令和2年度>
●化学療法の積極的な実施	目標値			1,443件	1,443件	1,443件	1,443件	1,443件
	実績値	899件	1,187件	1,443件	1,511件	1,621件	1,518件	
●「地域がん登録」、 「全国がん登録」 への参加	目標値			参加	参加	参加	参加	参加
	実績値	参加	841件	610件	653件	602件	522件	

取組課題1 医療機能の充実・強化

取組項目(3) 高度・専門医療の確保・充実

① 循環器内科における診療の充実

〔計画記載ページ P.44〕

緊急性・重篤性のある疾患を対象とした、心臓カテーテル検査、ペースメーカー治療、カテーテル・インターベンション治療等を目的とする短期入院診療を充実します。また、経皮経管冠動脈形成術(PTCA)、不整脈、心臓ペースメーカーの専門外来を継続します。

<取組内容>

令和元年度の主な取組内容

- ①循環器内科医の安定的な確保
- ②心疾患領域における短期入院診療の充実

※平成28～令和元年度の目標値は目安として設定

<成果指標>		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
心臓血管系造影件数	目標値	/	/	735件	736件	738件	739件	740件以上
	実績値	734件	753件	635件	727件	777件	668件	
	評価	/	/	5	3	2	4	
循環器内科入院・外来延患者数	目標値	/	/	19,789人	19,792人	19,794人	19,797人	19,800人以上
	実績値	19,786人	21,339人	20,369人	20,623人	19,458人	17,117人	
	評価	/	/	3	3	3	5	

<自己評価>

成果指標などの状況と成果の分析、今後の方向性	令和元年度の達成度
<ul style="list-style-type: none"> ・循環器内科医の安定的な確保については、循環器内科医師は平成29年度より1名減員の状況は変わっておりません。心臓血管系造影件数は前年度を109件下回り、目標値に対しても71件下回りました。新型コロナウイルスの影響が大きいと考えられます。 ・心疾患領域における短期入院診療の充実については、目標値(240件)と同等の241件ですが、入院延患者数が6,112人(前年度比528人減)、外来延患者数が11,005人(前年度比1,813人減)でした。延患者数の減少については、新型コロナウイルスの影響が大きいと考えられます。 ・結果、心臓血管系造影件数、循環器内科入院・外来延患者数ともに目標値を下回りましたので、達成度はDとしました。 ・今後も、循環器内科医の安定的な確保、心疾患領域における短期入院診療の充実に努めていきます。 	<p>D 目標を下回った</p>

<具体的な取組>

●は、主な取組として「市立病院中期経営計画2016-2020」に記載されているもの。

		<平成26年度>	<平成27年度>	<平成28年度>	<平成29年度>	<平成30年度>	<令和元年度>	<令和2年度>
●循環器内科医の 安定的な確保	目標値			7人	7人	7人	7人	7人
	実績値	実施	実施	7人	7人	6人	6人	
●心疾患領域にお ける短期入院診 療の充実	目標値			240件	240件	240件	240件	240件
	実績値	273件	238件	227件	262件	252件	241件	

取組課題1 医療機能の充実・強化

取組項目(3) 高度・専門医療の確保・充実

② 脳神経外科における診療の充実

〔計画記載ページ P.44〕

脳卒中患者等に対する脳血管内手術はもとより、血栓溶解療法（t-PA治療）につきましては、発症後4時間半以内に緊急で対応します。また、脳出血、水頭症、下垂体腺腫などに対する神経内視鏡手術を行うとともに、脳腫瘍、脳血管障害、てんかん、認知症、頭痛の専門外来を継続します。当直、オンコール体制による緊急受入れに努め、地域医療に貢献します。

<取組内容>

令和元年度の主な取組内容

- ①脳神経外科医の安定的な確保
- ②血栓溶解療法（t-PA治療）の実施
- ③専門外来の継続

※平成28～令和元年度の目標値は目安として設定

<成果指標>		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
		脳血管系造影件数	目標値			215件	216件	218件
	実績値	214件	183件	133件	145件	95件	70件	
	評価			5	5	5	5	
脳神経外科入院・外来延患者数	目標値			16,298人	16,299人	16,299人	16,300人	16,300人以上
	実績値	16,298人	14,850人	15,240人	15,602人	13,592人	13,503人	
	評価			4	3	5	5	



<自己評価>

成果指標などの状況と成果の分析、今後の方向性	令和元年度の達成度
<ul style="list-style-type: none"> ・脳神経外科医の安定的な確保については、脳神経外科医師の人数は前年度より1名増員となりましたが、脳血管系造影件数は前年度を25件下回りました。多摩区内に脳神経外科クリニックが開業したことや近隣に画像検査センターが増えたこと、新型コロナウイルスの影響が原因として考えられます。 ・血栓溶解療法（t-PA治療）の充実については、今年度は10件実施しており、前年度と比較して2件減少しています。また、脳神経外科入院・外来延患者数は入院延患者数が8,438人（前年度比384人減）、外来延患者数が5,065人（前年度比295人増）でした。原因としては前述の区内における診療環境の変化、新型コロナウイルスの影響が原因として考えられます。 ・結果、脳血管系造影件数及び脳神経外科入院・外来延患者数が目標値を下回ったため、達成度はDとしました。 ・今後も、脳神経外科における診療の充実を推進していきます。 	<p>D 目標を下回った</p>

<具体的な取組>

●は、主な取組として「市立病院中期経営計画2016-2020」に記載されているもの。

		<平成26年度>	<平成27年度>	<平成28年度>	<平成29年度>	<平成30年度>	<令和元年度>	<令和2年度>
●脳神経外科医の 安定的な確保	目標値			4人	4人	4人	4人	4人
	実績値	実施	実施	4人	4人	4人	5人	
●血栓溶解療法 (t-PA治療) の実施	目標値			7件	7件	7件	7件	7件
	実績値	18件	16件	7件	14件	12件	10件	
●専門外来の継続	目標値			実施	実施	実施	実施	実施
	実績値	実施	実施	実施	実施	実施	実施	

取組課題1 医療機能の充実・強化

取組項目(4) 医療機能の分化・強化、連携の推進

① 地域医療支援病院の運営と強化

[計画 記載ページ P.45]

平成23年3月より地域医療支援病院の運用を開始し、登録紹介医との緊密な連携を構築しています。外来患者の紹介・逆紹介に対する「かかりつけ医制度」を推進します。FAX検査予約等による検査機器の共同利用による医療機関の機能分化の強化と連携の推進に努めます。また、救急遠隔読影接続システムや地域の医療機関（医院・クリニック等）との地域連携システム（Human Bridge）を運用し、更なる連携を推進します。

<取組内容>

令和元年度の主な取組内容

- ①登録紹介医制度の推進
- ②検査機器等の共同利用の推進

※平成28～令和元年度の目標値は目安として設定

<成果指標>

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
紹介率	目標値			65.0%	65.0%	65.0%	65.0%	65.0%以上
	実績値	67.9%	65.4%	67.6%	68.3%	70.7%	72.2%	
	評価			3	2	2	1	
逆紹介率	目標値			40.0%	40.0%	40.0%	40.0%	40.0%以上
	実績値	51.8%	54.0%	54.5%	51.0%	53.0%	58.8%	
	評価			1	1	1	1	
検査機器の共同 利用件数	目標値			4,729件	4,734件	4,740件	4,745件	4,750件以上
	実績値	4,724件	5,051件	4,549件	4,724件	4,343件	4,180件	
	評価			3	3	4	5	



<自己評価>

成果指標などの状況と成果の分析、今後の方向性	令和元年度の達成度
<ul style="list-style-type: none"> ・登録紹介医制度の推進については、川崎市医師会・歯科医師会と基本協定書を締結した医師を登録紹介医とし、緊密な連携を構築するよう活動しています。また、紹介率・逆紹介率は目標値を大きく上回りました。 ・登録紹介医は466人まで増加しました。 ・検査機器等の共同利用の推進については、目標値を下回りました。多摩区内に脳神経外科クリニックが開業したことや近隣に画像検査センターが増えたこと、新型コロナウイルスの影響が原因として考えられます。 ・結果、検査機器の共同利用件数は目標値を下回りましたが、紹介率・逆紹介率は目標値を大きく上回ったため、達成度はBとしました。 ・今後も、登録紹介医制度の推進・検査機器等の共同利用を推進していきます。 	<p>B 目標を上 回って達成</p>

<具体的な取組>

●は、主な取組として「市立病院中期経営計画2016-2020」に記載されているもの。

		<平成26年度>	<平成27年度>	<平成28年度>	<平成29年度>	<平成30年度>	<令和元年度>	<令和2年度>
●登録紹介医制度 の推進	目標値			431名	431名	431名	431名	431名
	実績値	実施	425名	431名	436名	450名	466名	

取組課題1 医療機能の充実・強化

取組項目(4) 医療機能の分化・強化、連携の推進

② 地域包括ケアシステムの推進

〔計画記載ページ P.45〕

在宅療養を支援するために、多摩区4か所の訪問看護ステーションと設立した「多摩区・病院と在宅ケアネットワークづくりを目指す会」を更に充実させます。また、確立された紹介・逆紹介システムにより、相互のコミュニケーションの強化を図り、医療相談センター5部門の機能を更に充実します。

<取組内容>

令和元年度の主な取組内容

- ①在宅療養を支援するため、地域の訪問看護ステーション等と意見交換を行う「多摩区・病院と在宅ケアネットワークづくりを目指す会」の充実
- ②地域医師会との懇親会の定期開催

※平成28～令和元年度の目標値は目安として設定

<成果指標>		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
地域関係施設との連絡調整会議への参加回数	目標値			8回	8回	8回	8回	8回
	実績値	8回	4回	4回	10回	20回	21回	
	評価			5	1	1	1	
有識者を参集して行われた連携会議等の回数	目標値			6回	6回	6回	6回	6回
	実績値	6回	4回	5回	6回	6回	6回	
	評価			5	3	3	3	



<自己評価>

成果指標などの状況と成果の分析、今後の方向性	令和元年度の達成度
<ul style="list-style-type: none"> ・「多摩区・病院と在宅ケアネットワークづくりを目指す会」の充実について、今年度は計5回開催しました。 ・地域関係施設との連絡調整会議への参加回数については、ケアマネージャー等との意見交換会や身寄りの無い患者さんへの支援に関する事例検討会など、その時々々の要請に応じた会議が加わり21回と目標値を大きく上回りました。また、有識者を参集して行われた連携会議等の回数は前年度と同じ6回と目標を達成しており、達成度はBとしました。 ・今後も、地域包括ケアシステムの推進に向け、多分野にわたる連携会議を積極的に開催し、参加していきます。 	<p>B 目標を上 回って達成</p>

<具体的な取組>

●は、主な取組として「市立病院中期経営計画2016-2020」に記載されているもの。

		<平成26年度>	<平成27年度>	<平成28年度>	<平成29年度>	<平成30年度>	<令和元年度>	<令和2年度>
●「多摩区・病院と在宅ケアネットワークづくりを目指す会」の充実	目標値			4回	4回	4回	4回	4回
	実績値	4回	4回	5回	5回	5回	5回	
●地域医師会との懇談会の定期開催	目標値			1回	1回	1回	1回	1回
	実績値	1回	1回	1回	1回	1回	0回	

取組課題2 医療の質と患者サービスの向上

取組項目(1) 人材の確保と育成の推進

① 医療従事者の確保

〔計画記載ページ P.46〕

必要な医療従事者と有資格者の配置、看護師確保のための学校訪問等を行うとともに、臨床研修医の受入れや医学生・看護学生の実習の受入れを実施します。また、医師・看護師の負担軽減を推進します。

<取組内容>

令和元年度の主な取組内容

- ①病院実習生の受入れ
- ②病院見学・インターンシップの受入れ

※平成28～令和元年度の目標値は目安として設定

<成果指標>		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
基幹型臨床研修医の受入れ	目標値			3人	4人	6人	7人	8人
	実績値		2人	6人	6人	7人	10人	
	評価			1	1	1	1	
医師事務作業補助者の人数	目標値			7人	7人	7人	7人	7人
	修正目標値					10人	10人	10人
	実績値		7人	10人	10人	16人	17人	
	評価			1	1	1	1	



<自己評価>

成果指標などの状況と成果の分析、今後の方向性	令和元年度の達成度
<ul style="list-style-type: none"> ・病院実習生（看護）に関する受入れについては14施設、実習受入れ人数は281人でした。 ・看護師の採用活動である学校訪問は4校、合同説明会参加は6回、多摩病院における病院説明会は17回実施しました。 ・看護師採用試験は21回実施し、看護師志望者の病院見学の受入は36人、インターンシップの受入は75人でした。 ・基幹型臨床研修医の受入れについては、前年度と比較して3名増の10名でした。 ・医師事務作業補助者の人数については、前年度と比較して1名増の17名となりましたので、25対1を算定しています。 ・職員の要望や苦情等を抽出、改善し、職員間の親睦を図るためのレクリエーション等を企画、運営しています。また、全職員に共通する教育・研修を企画し実施しています。 ・結果、基幹型臨床研修医の受入れ人数及び医師事務作業補助者の人数がともに目標値を上回ったため、達成度はAとしました。 ・今後も、基幹型臨床研修医の受入れ、医師事務作業補助者の増員を進めていきます。 	<p>A 目標を大きく上回って達成</p>

<具体的な取組>

●は、主な取組として「市立病院中期経営計画2016-2020」に記載されているもの。

		<平成26年度>	<平成27年度>	<平成28年度>	<平成29年度>	<平成30年度>	<令和元年度>	<令和2年度>
●病院実習生の受入れ（看護師）	目標値			139人	139人	139人	139人	139人
	実績値	実施	実施	139人	259人	277人	281人	
●病院見学・インターンシップの受入れ（看護師）	目標値			159人	159人	159人	159人	159人
	実績値	実施	実施	159人	164人	187人	111人	

取組課題2 医療の質と患者サービスの向上

取組項目(1) 人材の確保と育成の推進

② 職員の専門能力の向上

〔計画記載ページ P.46〕

認定看護師・診療情報管理士などの育成を更に推し進めます。医師や看護師をはじめ職員の積極的な学会・研修への参加を推奨し、レベルアップ・キャリアアップの機会を提供します。

<取組内容>

令和元年度の主な取組内容

- ① 認定看護師取得のためのサポート
- ② 診療情報管理士の安定的な確保

※平成28～令和元年度の目標値は目安として設定

<成果指標>		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
		目標値			9名	9名	9名	9名
認定看護師 の人数	実績値	9名	9名	9名	9名	9名	10名	
	評価			3	3	3	1	
	目標値			12名	12名	12名	12名	12名
診療情報管理士 の人数	修正目標値					14名	14名	14名
	実績値	12名	13名	14名	16名	14名	16名	
	評価			1	1	3	1	



<自己評価>

成果指標などの状況と成果の分析、今後の方向性

令和元年度の達成度

- ・今年度の認定看護師の人数は前年度から1名増え10名でした。また、専門看護師（家族支援分野）1名も勤務しています。
- ・診療情報管理士の安定的な確保については、前年度から2名増えて16名となりました。引き続き「診療録管理体制加算1」を算定しています。
- ・結果、認定看護師、診療情報管理士の人数について目標を上回りましたので、達成度はAとしました。
- ・今後も、認定看護師及び診療情報管理士の増員を進めていきます。

**A
目標を大きく上回って
達成**

<具体的な取組>

●は、主な取組として「市立病院中期経営計画2016-2020」に記載されているもの。

		<平成26年度>	<平成27年度>	<平成28年度>	<平成29年度>	<平成30年度>	<令和元年度>	<令和2年度>
●認定看護師取得のためのサポート	目標値			実施	実施	実施	実施	実施
	実績値	実施	実施	実施	実施	実施	実施	
●診療情報管理士の安定的な確保	目標値			12名	12名	12名	12名	12名
	実績値	12名	13名	14名	16名	14名	16名	

取組課題2 医療の質と患者サービスの向上

取組項目(2) 医療安全の確保・向上

○ 医療安全の強化

〔計画記載ページ P.47〕

医療事故防止及び迅速な対応のために、職員教育体制を整備し業務改善に取り組み、安全教育の啓発に努めます。また、院内感染対策に対する職員教育を徹底し、質の高い安全で安心な医療を提供します。

<取組内容>

令和元年度の主な取組内容

- ①医療事故の防止及び迅速な対応
- ②医療安全対策に係る研修を受けた専門看護師等の配置
- ③感染対策の十分な経験を有する医師・看護師等の配置
- ④感染制御チームによる活動の推進

※平成28～令和元年度の目標値は目安として設定

<成果指標>

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
体制の確保 (「医療安全対策加算1」及び「感染防止対策加算1」に係る診療報酬施設基準の届出)	目標値			届出(継続)	届出(継続)	届出(継続)	届出(継続)	届出(継続)
	実績値		届出(継続)	届出(継続)	届出(継続)	届出(継続)	届出(継続)	
	評価			3	3	3	3	

<自己評価>

成果指標などの状況と成果の分析、今後の方向性	令和元年度の達成度
<ul style="list-style-type: none"> ・医療事故の防止及び迅速な対応については、医療安全に係る指針、規程に基づいて迅速な活動をしています。 ・医療安全対策に係る研修を受けた専門看護師等の配置については、医療安全管理室副室長として専門の研修を受けた医療安全管理者を専従配置しています。 ・医療安全管理委員会(1回/月)については、室長・病院長・副院長(看護部長)・医師・薬剤師・事務・医療安全管理者で構成しています。また、各診療科、部署毎に1名のセーフティマネージャーを任命し、全体で50人程度を配置しています。 ・感染対策については、医療安全管理室所属の院内感染対策において十分な経験を有する医師・看護師等が活動しており、看護師については専従配置をしています。また、院内感染対策委員会(1回/月)について、室長・病院長・副院長・医師・看護師(専従)・臨床検査技師・薬剤師・事務で構成しており、感染対策チーム(ICT)のラウンドも毎週実施しています。 ・今後も、「医療安全対策加算1」及び「感染防止対策加算1」の体制確保を継続していきます。 	<p>C ほぼ目標ど おり</p>

<具体的な取組>

●は、主な取組として「市立病院中期経営計画2016-2020」に記載されているもの。

		<平成26年度>	<平成27年度>	<平成28年度>	<平成29年度>	<平成30年度>	<令和元年度>	<令和2年度>
●医療事故の防止及び迅速な対応	目標値			実施	実施	実施	実施	実施
	実績値	実施	実施	実施	実施	実施	実施	
●医療安全対策に係る研修を受けた専門看護師等の配置	目標値			1人	1人	1人	1人	1人
	実績値	1人	1人	1人	1人	1人	1人	
●感染対策の十分な経験を有する医師・看護師等の配置	目標値			1人	1人	1人	1人	1人
	実績値	1人	1人	1人	1人	1人	1人	
●感染制御チームによる活動の推進	目標値			週1回	週1回	週1回	週1回	週1回
	実績値	週1回	週1回	週1回	週1回	週1回	週1回	

取組課題2 医療の質と患者サービスの向上

取組項目(3) 患者に優しい病院づくり

○ 分かりやすい情報提供と利用しやすい施設の強化

〔計画記載ページ P.47〕

患者相談窓口を一元化した「医療相談センター」において、各種医療福祉制度の活用や退院後の療養環境に関する相談から、看護・栄養・薬剤・リハビリ相談や地域医療機関の御案内など、さまざまな御相談に応じています。また、市民・患者に対してより理解し易く情報を提供するためにホームページを改訂するとともに、市民の健康増進や介護知識の習得に向けた市民健康講座などを、引き続き開催します。

<取組内容>

令和元年度の主な取組内容

- ①医療相談センターにおける患者相談窓口の一元化
- ②ホームページの内容の充実
- ③市民健康講座の開催

※平成28～令和元年度の目標値は目安として設定

<成果指標>

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
入院患者満足度	目標値			86.8%	87.4%	88.0%	88.6%	89.3%以上
	実績値		85.4%	88.7%	83.2%	84.9%	86.4%	
	評価			3	3	3	3	
外来患者満足度	目標値			77.8%	78.7%	79.7%	80.7%	81.7%以上
	実績値		77.0%	78.4%	78.6%	73.5%	79.1%	
	評価			3	3	4	3	



<自己評価>

成果指標などの状況と成果の分析、今後の方向性	令和元年度の達成度
<ul style="list-style-type: none"> ・市民健康講座の開催については、新型コロナウイルスの影響で開催回数が前年度の6回から5回と減少しましたが、366人が参加しました。 ・満足度調査については、年2回実施しています。 ・結果、入院・外来患者満足度ともに前年度を上回りましたが、目標値を下回りましたので達成度はCとしました。 ・今後も、入院患者満足度調査及び外来患者満足度調査を継続し、市民の声に答えていきます。 	<p>C ほぼ目標ど おり</p>

<具体的な取組>

●は、主な取組として「市立病院中期経営計画2016-2020」に記載されているもの。

		<平成26年度>	<平成27年度>	<平成28年度>	<平成29年度>	<平成30年度>	<令和元年度>	<令和2年度>
●医療相談センター における患者相談 窓口の一元化	目標値			実施	実施	実施	実施	実施
	実績値	実施	実施	実施	実施	実施	実施	
●ホームページのリ ニューアルと内容 の充実	目標値			随時	随時	随時	随時	随時
	実績値	随時	随時	随時	随時	随時	随時	
●市民健康講座の 開催	目標値			6回	6回	6回	6回	6回
	実績値	6回	6回	8回	7回	6回	5回	

取組課題3 強い経営体質への転換

取組項目(1) 収入確保に向けた取組の推進

[計画 記載ページ P.48]

医療機能の充実・強化を進めるとともに、病床等の限られた資源の効率的・効果的な活用や適切な診療報酬請求・未収対策の強化等により、診療収入の確保を進めます。

<取組内容>

令和元年度の主な取組内容

- ①医療機能の充実・強化による診療収益の確保
- ②精度の高い診療報酬請求
- ③未収金督促・催告の強化

※平成28～令和元年度の目標値は目安として設定

<成果指標>

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
医療収益の額	目標値			87.4億円	88.0億円	88.5億円	89.1億円	89.7億円以上
	実績値	86.8億円	93.3億円	91.6億円	93.6億円	96.8億円	96.1億円	
	評価			3	2	2	2	
入院患者1人1日 当たり診療収入 (入院診療単価)	目標値			55,174円	55,330円	55,487円	55,643円	55,800円以上
	実績値	55,017円	56,047円	55,560円	55,352円	57,464円	57,355円	
	評価			3	3	3	3	
外来患者1人1日 当たり診療収入 (外来診療単価)	目標値			11,609円	11,632円	11,654円	11,677円	11,700円以上
	実績値	11,586円	12,992円	13,089円	12,827円	13,556円	14,349円	
	評価			1	1	1	1	
病床利用率	目標値			80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%以上
	実績値	78.2%	81.0%	79.2%	82.9%	81.9%	83.0%	
	評価			3	3	3	3	

<自己評価>

成果指標などの状況と成果の分析、今後の方向性

令和元年度の達成度

・医療機能の充実・強化による診療収益の確保については、上記<成果指標>の医療収益の額のとおり前年度を若干下回りましたが目標値を大幅に上回りました。救急搬送件数、手術件数が増加したこと、診療単価が上がったことなどが要因と考えられます。
 ・精度の高い診療報酬請求については、レセプト委員会(医事課幹事)を定期的に開催し査定・返戻の状況を事例共有し、診療科ごとに発表、検討を実施しています。
 ・未収金督促・催告の強化については、電話や文書による督促はもとより、未収金を増やさない努力として、ソーシャルワーカーや医事課職員の早期介入を行っています。
 ・結果、医療収益の額・入院診療単価・外来診療単価・病床利用率の実績が目標値を上回っているため、達成度はBとしました。
 ・今後も、診療収益の確保ならびに未収金督促の強化について取り組んでいきます。

B
目標を上
回って達成

取組進捗状況管理シート

<具体的な取組>

●は、主な取組として「市立病院中期経営計画2016-2020」に記載されているもの。

	<平成26年度>	<平成27年度>	<平成28年度>	<平成29年度>	<平成30年度>	<令和元年度>	<令和2年度>
●医療機能の充実・強化による診療収益の確保	目標値		実施	実施	実施	実施	実施
	実績値	実施	実施	実施	実施	実施	実施
●精度の高い診療報酬請求 【レセプト査定率】	目標値		0.55%	0.55%	0.55%	0.55%	0.55%
	実績値	0.37%	0.56%	0.54%	0.50%	0.37%	0.33%
●未収金督促・催告の強化 【電話催促のみ】	目標値		550件	550件	550件	550件	550件
	実績値	543件	384件	504件	632件	514件	386件

取組課題3 強い経営体質への転換

取組項目(2) 経費節減に向けた取組の推進

[計画 記載ページ P.48]

医療材料や医療機器等の購入費用の節減、材料等の適正な在庫管理などにより、経費の節減に努めます。また、業務改善や効率的な業務執行などにより、時間外勤務の縮減を進めます。

<取組内容>

令和元年度の主な取組内容

- ①適正な在庫管理
- ②業務効率化による時間外勤務の縮減

※平成28～令和元年度の目標値は目安として設定

<成果指標>		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
		職員給与費対 医業収益比率			51.4%	51.8%	52.3%	52.7%
	実績値	51.0%	47.8%	50.3%	51.1%	51.5%	52.7%	
	評価			3	3	3	3	
委託費対 医業収益比率	目標値			15.1%	15.0%	15.0%	14.9%	14.9%以下
	実績値	15.1%	12.9%	13.9%	14.3%	14.1%	14.2%	
	評価			2	3	2	3	



<自己評価>

成果指標などの状況と成果の分析、今後の方向性	令和元年度の達成度
<ul style="list-style-type: none"> ・適正な在庫管理については、物流センターによる全部署の在庫見直しを毎年1回（6月）実施し、その他必要に応じて随時対応しています。 ・業務効率化による時間外勤務の縮減については、「職員環境向上委員会」において病院勤務医・看護師の役割分担の推進・負担軽減・処遇改善に係る計画を策定・評価をしています。 ・時間外勤務の管理については、部署毎に把握し、改善するよう注意喚起をしています。 ・今後も、適正な在庫管理ならびに業務効率化による時間外勤務の縮減の推進を実施していきます。 	<p>C ほぼ目標ど おり</p>

<具体的な取組>

●は、主な取組として「市立病院中期経営計画2016-2020」に記載されているもの。

		<平成26年度>	<平成27年度>	<平成28年度>	<平成29年度>	<平成30年度>	<令和元年度>	<令和2年度>
●適正な在庫管理	目標値			実施	実施	実施	実施	実施
	実績値	実施	実施	実施	実施	実施	実施	
●業務効率化による時間外勤務の縮減	目標値			実施	実施	実施	実施	実施
	実績値	実施	実施	実施	実施	実施	実施	

取組課題3 強い経営体質への転換

取組項目(3) 経営管理体制の強化

〔計画記載ページ P.49〕

各職員が病院の経営状況を把握するために、毎月、各診療部長ならびに部門長・現場責任者の幹部職員が一同に会する会議で、収支報告並びに今後の体制に関する変更内容を周知するとともに、病院上層部と医事、会計、医療情報の各部門が一同に会した経営戦略会議を行い、今後の対応を検討します。また、月に一度、法人上層部に収支報告を行い経営改革を推進します。

<取組内容>

令和元年度の主な取組内容	
①幹部会議を通じた収支状況等の各職員への周知 ②経営戦略会議の開催	

※平成28～令和元年度の目標値は目安として設定

<成果指標>

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
経営戦略会議 開催数	目標値	/	/	11回	11回	11回	11回	11回
	実績値	11回	12回	12回	12回	12回	12回	
	評価	/	/	2	2	2	2	



<自己評価>

成果指標などの状況と成果の分析、今後の方向性	令和元年度の達成度
・幹部会議を通じた収支状況等の各職員への周知については、年11回開催（8月休会）している管理運営会議において周知しています。経営戦略会議の開催については、平成27年度から、年12回開催し、目標値を上回ったため、達成度はBとしました。	B 目標を上 回って達成

<具体的な取組>

●は、主な取組として「市立病院中期経営計画2016-2020」に記載されているもの。

		<平成26年度>	<平成27年度>	<平成28年度>	<平成29年度>	<平成30年度>	<令和元年度>	<令和2年度>
● 幹部会議を通じた収支状況等の各職員への周知	目標値			実施	実施	実施	実施	実施
	実績値	実施	実施	実施	実施	実施	実施	